



ライフステージに合わせた選択肢をつくる。

宇都宮子育て支援株式会社

ニュースリリース

カテゴリ：移動支援事業

2025年10月23日 第3号

「産むときも、子育て中も」安心な街へ。宇都宮子育て支援と宇都宮大学が産学連携。 「子育てタクシー」の移動課題解決に向けた共同研究を開始。

宇都宮市で「宮っこタクシー案内所」を運営し地域の子育て支援に取り組む宇都宮子育て支援株式会社（本社：栃木県宇都宮市、代表取締役：上野恵美子）は、国立大学法人宇都宮大学 地域デザイン科学部 佐藤栄治教授（専門：空間情報科学による都市計画）と、地域における子育て世代の移動課題解決に向けた「子育てタクシー」のDX推進に関する共同研究契約を2025年10月21日に締結しました。

本研究では、当社が保有する運行データや利用者情報と、宇都宮大学の空間情報科学に基づく高度な分析技術を組み合わせ、潜在的なニーズの可視化と業務効率化を目指します。

■研究の背景：子育て世帯の「移動の不安」という社会課題

共働き世帯の増加に伴う子どもの送迎負担、核家族化による妊婦の陣痛時輸送の不安、そして日常的な子連れの移動の困難さは、地域における喫緊の子育て課題となっています。当社は、「子育てしやすい街」の大前提として「誰もが安心して産める街」であることが重要であると考え、タクシー事業者と連携して、妊産婦と児童の移動支援事業に取り組んできました。この度、今後さらに増大する子育て世帯のあらゆるシーンのニーズに応え、より安全で利便性の高いサービスを提供するため、宇都宮大学の学術的な知見を導入し、サービスのDX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進することを決定しました。

■共同研究の概要

研究名称：地域における子育て世代の移動課題解決に向けた「子育てタクシー」のDX推進に関する研究

研究期間：2025年10月23日～2026年3月31日

研究内容：

- ・過去の運行データ、会員情報の分析（空間情報科学に基づく）
- ・利用者へのアンケート調査と潜在的ニーズの可視化
- ・将来のサービス需要予測と、効率的な配車モデルの構築

役割分担：

- ・宇都宮子育て支援株式会社：運行データ・各種情報の提供、実証実験のフィールド提供
- ・宇都宮大学（佐藤研究室）：学術的分析、調査票の設計、需要予測モデルの構築

■今後の展望

本研究の成果をもとに、サービスの利便性・安全性を向上させます。将来的には、協力事業者を増やし、運行地域を鹿沼市、小山市、栃木市等へ拡大するとともに、多様なステークホルダーと連携し、「子育て」を地域全体で支える持続可能な仕組みづくりを目指します。

【本件に関するお問い合わせ先】

- ・宇都宮子育て支援株式会社
- ・担当：代表取締役 上野 恵美子
- ・TEL：050-8885-4089
- ・Email：info@u-kosodate.com

以上